

合併の枠組み

考
え
る
東三河市論
⑦ 県会議員
渡会克明

国政で自民党と連立 一番自然だが、着地点
与党を組む公明党。東 ではない。三遠南信と
三河では、渡会克明県 いう大局的な見地に立
議が愛知15選挙区の総 ち、浜松との連携、合
支部長であることもに 併まで視野に入れるべ
県本部副幹事長、政策 きだ」と認く。
局長を務め、合併論に 「党として、正式に
についても見解をもつ。 合併について議論した
「東三河が1つになり わけではないので、私
東三河市をつくるのが 見たという断りを入れ



三遠南信市を語る渡会克明

たい。一言言いたいの は、市民感覚とは別の
は、市民感覚とは別の ところで合併論議が行
とろで合併論議が行 われているということ
だ。財界およびマスコ ミ主導で行われており、
市民は是非を判断する に足る情報すら与えら
れていない」
今月初めに行われた 7首長新春懇談会(東
三河懇話会主催)を聴 講した。

「住民に聞いてみた。 併情報を提供し、今の
らいい。本気で合併を 生活がどう変わるの
考えている人がどれだ か、メリットと痛みを
けるか。アンケート きちつと説明しておく
もおせん立ってした上 べきだ。市民の目線で
で、賛成か反対か、ど 議論する積み上げ方式
ちらか選択せよと迫 の合併論でなければ、
新・浜松市は財界を 中心に、三遠南信自動
車道の進ちよくに合わ

「本音が聞けたと言 えば聞こえはいいが、
みんなバラバラ。「私 は「三つしたい」という
リーダーシップが聞け なかったのが残念」
東三河のこれまでの 合併の足跡はつまずき
の歴史だった。

「だから住民はしつ 肝心なところでつまず
しつ回答するが、実 きやすくなる」
際、是非を判断できる 一方では、道州制論
ほど情報を与えられて 議が具体化して来てい
いないし、毎日の生活 で話題になっている訳
でもない。行政(首長) は目黒から、もっと
分かりやすく住民に合

くつもある。いろんな 岡崎、浜松の間に挟ま
れて埋没しかねない。 シップで東三河合併を
浜松と手を組み、でき 進めていくべきだ。
れば合併して三遠南信 三遠南信地域が一体
市を考えるぐらいの発 となり、産業をはじめ歴
想がほしい。空港、港 史や文化、観光などを
湾はじめ都市機能が完 売り物に外に打って出
備している名古屋との て行けば、必ずやれる。
差別化を図らなければ、 それだけのポテンシャ
いつまでも元気が ールはある。もっと大所
は出てこない。それに 高所から、鳥の目で見
いつまでも中山間地域 る必要がある」
を放っておけない。 三遠南信市論は壮大
だ。

浜松との大連合図れ

「三遠南信市、大いに結構」

「豊橋と浜松が張り 合っても仕方ない。手
東三河市だけの論議じ を取り合つべきだ。外
や済まない。名古屋に 国人が多いなど、都市
対抗するために浜松と として共通点も多い。
手を組み、連携する必 思い切つて一緒に作り、
要がある。東三河市合 人種のルーツをめぐす
併が最終的な着地点で ぐらいな、大胆な発想
はない。どこに着地す がほしい。そこから必
るのか、先の先まで見 ず新しいものが生まれ
通した上で、きちっと るし、展望も開ける。
ビジョンを示し、住民 浜名湖は魅力的だし、
に説明し、納得を得な 三河港も魅力的だ」
から、強力なリーダー (山崎祐一)